

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2016 年 6 月号 (June 2016)

発行 日本英文学会東北支部 〒980-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内
TEL022-264-6401 FAX 022-264-6530 Email: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 大河内 昌

前支部長箭川修先生のご病気による支部長辞任にともない、本年 4 月 1 日をもって日本英文学会東北支部長に就任いたしました。任期は前任支部長の残任期間となります。事務局長の福士航先生、事務局員の井出達郎先生には引き続き事務局の運営にあたってください。私の支部長就任にともなって空席になった副支部長には岩田美喜先生にご就任いただきました。東北英文学会が日本英文学会東北支部となって以来、事務局の業務が増え、毎年本部から運営面や会計面で新しい宿題が出されています。たとえば、昨年度は支部大会時の特別講演やシンポジウムの講師への謝金に消費税がつくことになり、事務局が頭を悩ませたという事例がありました。しかし、箭川修前支部長と事務局のご尽力で、東北支部は概ね安定的に運営されるようになり、『英文学研究支部統合号』や『支部統合プログラム』など、支部体制によって実現した刊行物もわれわれにとってすっかりお馴染みのものとなりました。しかし、他方、支部体制が安定化するにともない、全国的な会員の減少、予算不足、支部大会を引き受けてくださる学校がなかなか見つからないなど、長期的な課題も浮かび上がってきてつづあります。大学の英語教員も多様化し、日本英文学会の会員にならない先生方も増えています。そうした中だからこそ、英文学・米文学・英語学・英語教育といった学問分野の探求をする教員や学生が集い、研究成果を発表する場としての学会の役割は、ますます重要になってくると思われます。5 月 27 日に京都大学で開催された全国理事会においても、本部・各支部ともに新しい組織のあり方に関わり慣れて、運営が円滑になっているという報告が会長から述べられました。しかし、全国レベルでも会員が一昨年度、昨年度ともにほぼ 40 名の会員減があったことも報告されました。将来的には、日本英文学会の会員が減少してゆくことは確実です。今後は、少子化と縮小の時代においてどう学会の生命力を維持してゆくかが、大きな課題となってゆきます。私も会員の皆さまのご協力を得ながら、微力をつくして支部長の任に当たる所存ですので、よろしくお願いいたします。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることになります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますのでご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000 円) + 支部会費 (1000 円) です。

第 71 回支部大会の開催について

2016 年 4 月 23 日に第 1 回理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第 71 回大会は以下のように行われることになりました。

日時：2016 年 11 月 19 日 (土)・20 日 (日)

場所：秋田カレッジプラザ

また、秋田英語英文学会との共催になります。お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

研究発表応募要項

大会第 1 日目には研究発表を行う予定です。研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を **6 月 30 日 (木) までに** MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

シンポジウムについて

大会第 2 日目に行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞ期待ください。

◆英文学部門：テーマ：「英文学とビジュアル・カルチャー」

司会・講師：梶理和子（山形県立保健医療大学）

講師：小野俊太郎（文芸評論家）佐藤恵（東北生活文化大学短期大学部）

小林亜希（山形県立米沢女子短期大学）

◆米文学部門：テーマ：「ゲイであること、作家であること」

司会：村上東（秋田大学）

講師：徳永慎也（東北大学大学院）藤倉ひとみ（東北大学フェロー）

清水菜穂（宮城学院女子大学・非）

◆英語学部門：テーマ・司会・講師ともに調整中

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：梶理和子（山形県立保健医療大学）菊池秋夫（八戸高専）

米文学部門：野口元康（流通経済大学）田島優子（宮城学院女子大学）

英語学英語教育部門：佐藤元樹（福島大学）五十嵐啓太（会津大学短期大学部）

開催校委員：佐々木和貴（秋田大学）

編集委員について

今年度の編集委員は以下の会員が務めます。

英文学部門 鈴木雅之（宮城学院女子大学）竹森徹士（宮城教育大学）境野直樹（岩手大学）

米文学部門 宇津まり子（山形大学）伊達雅彦（尚美学園大学）中山悟視（尚絅学院大学）

英語学英語教育部門 富澤直人（山形大学）高橋英也（盛岡大学）

ルプシャ・コルネリア（岩手県立大学）

事務局の体制について

東北学院大学准教授・福士航が事務局長を、同大准教授・井出達郎が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を福士が、HP管理と出版関係事務を井出が担当しております。事務局へのご連絡は、電子メール（tohoku@elsj.org）をお使いください。

東北支部役員選挙について

下記の理事会議事録にもありますように、今年度は支部理事の改選選挙が行われます。2年以上会費が未納になりますと、会員資格を失い会員名簿から削除されてしまい、結果として支部理事選挙に参加できなくなってしまうので、ご注意ください。会費未納の会員は、どうぞお早めに納入をお願い致します。支部理事選挙の投票に関する詳細は、9月後半から10月初旬の間に送付される通知をご覧ください。

各支部から選出された理事のなかから、日本英文学会会長が選出されることになります。日本英文学会本体の会長選出に関係する大変重要な選挙でありますので、忘れずにご投票をお願い致します。

理事会報告

2016 年 4 月 23 日に、本年度第 1 回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2016 年度第 1 回理事会

議 事 録

日 時 2016 年 4 月 23 日（土）・15：00～17：00

場 所 東北学院大学土樋キャンパス 8 号館 3 階 第 1 会議室

出席者（順不同・敬称略）

副 支部長 大河内昌（東北大学）

理 事 飯田清志（仙台高専）宇津まり子（山形大学）遠藤健一（東北学院大学）奥野浩子（弘前大学）

金子義明（東北大学）川田潤（福島大学） 佐々木和貴（秋田大学）鈴木雅之（宮城学院女子大学）村上東（秋田大学）

＊ 箭川修支部長（東北学院大学）、石橋敬太郎理事（岩手県立大学）、岩田美喜理事（東北大学）、鈴木亨理事（山形大学）は都合により欠席

事 務 局 福士航（事務局長） 井出達郎（事務局員）

議 題

報告事項

(1) 本部理事会報告

特に報告事項はない旨、大河内副支部長から説明があった。

議事

(1) 2015 年度事業報告（資料1）

事務局が提示した事業報告が承認された。

(2) 2015 年度決算報告（資料2）

事務局が提示した決算報告が承認された。

(3) 2015 年度監査報告（資料2）

事務局より監査報告について説明があり、承認された。

(4) 2016 年度事業計画について（資料3）

事務局が提示した事業計画が承認された。

(5) 2016 年度予算について（資料4）

事務局が提示した支部予算が承認された。

(6) シンポジウム外部講師の謝金について

各部門に1万円計上しているシンポジウム外部講師謝金を全廃することが事務局より提案され、種々の議論の結果、承認された。

(7) 支部長の辞意表明について

箭川支部長が健康上の理由で支部長辞任を申し出ており、議論の結果、申し出が理事会で承認された。また、後任を大河内副支部長が務めることが承認された。

(8) その他

今年度が理事改選選挙の年にあたっており、従来通りのやり方で選挙をおこなうことが事務局より提案され、承認された。（例年の日程に従うと、10月末に投票を締め切り、11月初旬に開票、11月中旬までに新理事を10名選出することになる。）また、大河内理事より、10番目の得票者が同点で複数いた場合、現支部長・副支部長が、地域および専攻分野のバランスを勘案しながら、10人目の理事候補者を決定するようにしてはどうかと提案され、議論の結果、承認された。

また、選挙管理について、選挙管理委員会を特別に設けることはせず、事務局と立会人1名で開票・集計作業を行うことが確認された。